

まちこの県政報告



Vol.6

MACHIKO ARICHIKA
PREFECTURAL ASSEMBLY REPORT

発行元/有近まちご事務所 発行日/2022年4月28日

まちこの主張を分かりやすくお伝えします。

- コロナの2年間は子どもたちの20年!?
- 農業の活性化のための鍵とは!?
- 柳井市の道路整備が進展しています!

ウクライナ国旗をイメージした服装で登壇しました!



地域の明るい未来のために
いま必要なことを伝えてきました!

今、世界は怒りと悲しみに包まれています。ロシアのウクライナ侵攻により、何の罪もない人々が命を奪われ、住む場所を追われ、命から逃げ惑う姿が報道されるたび、何もできない無力感にさいなまれます。ウクライナの人々に一日も早く穏やかな日常が戻ることを、心よりお祈り申し上げます。

今の私たちにできることは、山口県議会が全会一致で決議したように、それぞれの立場からロシアの暴挙に強く抗議し非難の声を上げるとともに、ウクライナ国民の気持ちに寄り添うというメッセージを発信し続けることだと考えます。そうした思いから、2月定例会ではウクライナ国旗をイメージした青と黄色の服装で登壇しました。東アジアの安全保障環境が厳しさを増す中、領土問題を抱える我が国にとって今回の事態は決して対岸の火事ではありません。また、エネルギー源のほとんどを海外からの輸入に依存している我が国の危うさを、改めて認識させられました。国際社会の対応を目的の当たりにする中で、我が国の国防のあり方やエネルギー安全保障の確保について議論を急がなければならぬと感じています。

ウクライナ国民に寄り添い、わが国の危うさを憂う

山口県議会議員・弁護士

有近まちこ



ツイッター



インスタグラム



ホームページ



フェイスブック

まちこのDay by Day

地域での活動や調査に奔走し、県の仕事に励み、国にも協力を呼びかけた毎日でした。



● 昨年の講演会の様子は、以下のURLからご視聴いただけます。
<https://youtube.com/channel/UCEQ-EXSbazC7rFUkSVZZsgA>

「「こちやませ」まちづくり講演会」『まちこの県政報告Vol.4』で詳しく紹介した「こちやませ」のまちづくり。「こちやませ」のまちづくりの良さを皆さんに話してきた結果、柳井市、そして山口県各地で、たくさんの方々が「こちやませ応援団」ができてきました。

昨年9月には、講師として雄谷良成さん(社会福祉法人佛子園理事長・公益社団法人青年海外協力協会会長)に「こちやませ」特別ゲストに伊藤明子さん(元国土交通省住宅局長、現消費者庁長官)をお招きして、講演会を開催してきました。11月には柳井ライオンズクラブで卓話の機会を頂き、「こちやませ」による寛容なまちづくりをテーマにお話させて頂きました。

今年度は、様々な方々に実際に「こちやませ」のまちづくりの様子を見て頂く予定です。



県民と警察を結ぶ「音の架け橋」、山口県警察音楽隊の練習を視察



県主催の女性相談会・生理用品配布会・フードパントリーにて



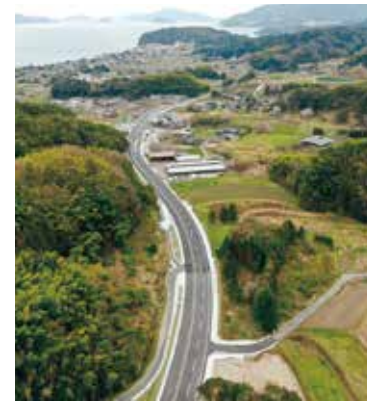
大蔵神社(柳井市)のお祭りに参加。地域の皆さんと一緒に

「奈良県知事・荒井正吾氏を訪問」山本繁太郎前山口県知事と親交の深かった、奈良県の荒井知事にお会いしてお話をする機会をいただきました。荒井知事といえば今年1月、「奈良県ではまん延防止等重点措置は効果がない」として適用申請しない考えを表明されたことが話題となりました。裏付けのない感染症対策や同調圧力について冷静に判断すべきとの考えで、第6波では経済に不必要な打撃を与えない実情に合った対策を持続されました。こうしたブレない姿勢や、冷静に矜持(きょうじ)をもって自らの仕事に徹する姿に、政治家としてあるべき姿を学びました。私も勇気ある政治家になれるようがんばります。



奈良県知事の荒井氏と

「県道柳井上関線が部分開通!」通学路の安全確保や救急活動の迅速化などから必要性を訴え続けてきた「県道柳井上関線伊保庄バイパス」の一部(黒島地区から八幡団地まで)が、3月30日ついに開通しました。全線開通に向けて要望活動を継続していきます。



部分開通した県道柳井上関線伊保庄バイパス

ぜひ事務所にお気軽に
お立ち寄りください。
皆さんにお会いできる
私も元気が出ます!



「ごあいさつ」

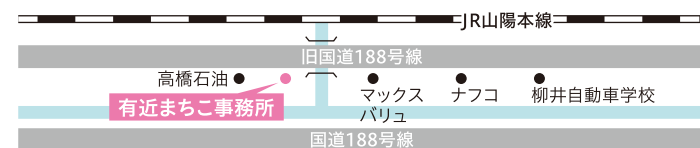
この三年間で多くの方との出会いがあり、そのお一人お一人からいろいろな事を教えていただきました。皆さまのおかげで、山口県、柳井市のために様々な仕事をさせて頂くことが出来ました。改めて、人のご縁の大切さを実感することばかりです。

そうした日々の仕事を通じて、私がかがけていることはスピードです。様々なお声を聞かせていただくなかで、解決が難しいこともあり、まずはその日のうちに動き、「一生懸命取り組むこと」で、状況が好転したり、着地点が見つかりそうにない課題も改善策が見えてくることとがわかりました。

残りの任期も、フットワークよく、スピード感を持って、一つ一つの課題に丁寧に取り組みでいきたいと思います。



文教警察委員会室にて。副委員長として全力で取り組んでいます。



有近まちご事務所

〒742-0011 山口県柳井市新市沖5-20 TEL/0820-25-3910
FAX/0820-25-3950 E-mail/arichikamachiko@gmail.com

「県議会2月定例会一般質問」

- 1 子供や親の視点に立った
新型コロナ対策について(中面でご報告)
- 2 若年層の骨髄バンクドナー
登録促進について
コロナ禍でのドナー登録会等の減少に伴い、登録者数が激減。そこで、若年層への登録促進のため、登録機会の拡充や大学・企業での啓蒙等の対策が必要であることを伝えました。
県からは、若者へ向けた講演会を開催し、一層の促進を図るとの回答を得ました。
- 3 県の未収金対策について
県の貸付金の未収金は多額で、約9割を中小企業関連資金が占めます。県の財源確保や地域活性化の観点から、今後の取り組みについて所見をうかがいました。
県からは、専門家を活用しながら未収金縮減に集中的に取り組むとの回答を得ました。
- 4 農業施設の
円滑な継承について(中面でご報告)
- 5 柳井地域の道路整備の推進について
柳井地域の産業力の強化や住民の安心・安全のために、その基盤となる道路整備が必要不可欠です。これまで以上に地域の声を訴える決意を表明し、各道路の整備の必要性を伝えました。
県からは、道路ネットワーク構築に向け計画的かつ着実に取り組んでいくとの回答を得ました。

